

◆第一次世界大戦時の帝国日本によるドイツ植民地の押収の記録

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

# Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

米国国立公文書館所蔵資料デジタル・アーカイブ

アジア太平洋地域における

## ドイツの植民地主義と日本の委任統治

European Colonialism in the Early 20th Century:

German Colonies in Asia and the Pacific:

From Colonialism to Japanese Mandates, 1910-1929

(Source Library: U.S. National Archives / Content: 10,150 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※大学・学術機関向け IP アドレス接続／同時アクセス無制限でのご利用となります。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です

第一次世界大戦でドイツが敗戦すると、アフリカや太平洋のドイツ領植民地は国際連盟から委任される形でイギリス、フランス、日本等が統治し、植民地が再分割されました。

本コレクションは、米国国立公文書館が所蔵する国務省一般記録群 (RG59) のセントラル・ファイルの中から、ドイツが領有した中国の膠州湾租借地と太平洋諸島のドイツ領植民地の情勢に関する米国国務省の文書を収録します。膠州湾租借地は第一次大戦中、日本に占領され、1922年に中国に返還されるまで日本が租借地として領有しました。太平洋諸島のドイツ領植民地は第一次大戦後、日本の委任統治領になりました。本コレクションは、1910年から1929年まで、ドイツ領植民地だった時代から日本の租借地、委任統治領になった時代までの約20年に及ぶこの地域の情勢を米国外交官の眼を通して記録した文書を収録します。

収録文書は、これらの地域に駐在した米国の大使、公使、領事と国務省本省との間で交わされた往復文書です。外交官の重要な任務は駐在地の国内情勢を国務省本省に報告することです。外交官の報告は、政治や軍事関係の出来事の報告、社会経済関係の統計データ、当地の政府高官や政治指導者との会談の議事録、法律関係の記録、大使、公使、領事が送受信した重要な書簡や電信の写し、雑誌や新聞記事の切り抜きや翻訳、当地政府のハイレベルの文書等で構成され、アメリカと駐在国の外交関係の形成過程を明らかにする貴重な史料であることはもちろん、政治、政党、人権、行政、政情不安、蜂起、革命、財政、金融、貿易、産業、天然資源、労働、住宅から教育、宗教、文化、治安、犯罪、公衆衛生、公共事業、国防、外交、戦争まで、駐在国の内政事情全般を時系列に、主題別に、包括的に記録したものであり、外交官の文書が基本的に自国の国益というフィルターを通して出来事が選別されるということでは説明しきれないほど広範な領域をカバーし、駐在国の政治史、経済史、社会史を研究する上で欠かすことのできない史料でもあります。加えて、植民地宗主国でも支配下の住民でもない第三の立場から記録したものとしても、第一級の史料価値を持っています。



第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS  
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル  
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル  
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761  
075(353)2093 FAX (353)2096  
092(751)6956 FAX (741)0821

URL:<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail:[info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)

